

1. 授業のねらい・概要

経営戦略の立案から実行、評価まで、経営戦略に関する知識が論理的かつ体系的に身につくことを目標とする。また、競争環境や歴史、規模の相違によって企業の経営戦略がどのように変化するかについて、事例を交えて解説する。

2. 授業の進め方

基本的には、参考文献等に基づき講義形式で行うが、一方通行の授業ではなく随所でケース・スタディを提示し、相互ディスカッションを含め、共に考える時間をとるようにする。

3. 授業計画

1. イントロダクション： この科目の講義内容、進め方や評価方法 2. 経営戦略(1)： 企業を取り巻く環境変化と経営計画の立案 3. 経営戦略(2)： 経営計画を実行するための経営資源の配分、目標管理 4. 経営戦略(3)： 企業決算の基本的な仕組み、利益配分の考え方 5. 戦略の基本カテゴリー： 経営戦略を考える上での3要素（競争、歴史、規模） 6. 企業間競争と戦略(1)： 競争環境の相違を表現する基本戦略モデル 7. 企業間競争と戦略(2)： 独占ないし寡占状態にある企業の経営戦略	8. 企業間競争と戦略(3)： 競争過多の状況にある企業の経営戦略 9. 企業の歴史と戦略(1)： 企業の歴史を考慮に入れた基本戦略モデル 10. 企業の歴史と戦略(2)： 起業時、および新興企業の経営戦略 11. 企業の歴史と戦略(3)： 成熟した企業や「老舗」の経営戦略 12. 企業規模と戦略(1)： 企業規模の違いを反映した基本戦略モデル 13. 企業規模と戦略(2)： 中小企業の経営戦略 14. 企業規模と戦略(3)： 大企業や多国籍企業の経営戦略 15. 全体のまとめ： これまでに学んだことの整理、今後の課題の提示
--	---

4. 到達目標

経営戦略論の基礎が、論理的かつ体系的に身につくことを目標とする。また、現実の企業の経営戦略や株価の動きなど、ホットな話題にも適宜触れるので、関心のある業界や企業について、より深く研究しようという意欲が高まることを期待する。

5. 準備学修に必要な時間、またはそれに準じる程度の具体的な学修内容

随所でケース・スタディを提示するので、予習として、問題点の整理や解決方法の模索を行ってほしい。また、授業後は、参考文献・ノート等に基づき復習して、自分なりに講義内容を体系立てて身につけておくことが望ましい。

6. 成績評価の方法・基準

100点満点の評価を、次の3つの要素に分ける。①授業に対する受講姿勢（20点）、②随所で提示されるケース・スタディについて課されるレポートの内容（20点）、③期末試験の成績（60点）。

7. テキスト・参考文献

参考文献として、経営戦略研究会他『この1冊ですべてわかる 経営戦略の基本』日本総合研究所をあげておく。また、授業の都度、適宜関連資料を配布する。

8. 受講上の留意事項

履修状況を見て、上記授業計画の一部を変更することもありうる。
また、理解度を見て、適切な参考文献を随時紹介する。